

本とまちづくり ～本のある環境の作りかた～

単身で「人」と「本屋」のリトルプレス『HAB新潟』を創刊し、東京虎ノ門のコミュニティースペース「リトルトーキョー」に本屋「小屋BOOKS」をオープンした松井祐輔氏と、新潟市西区内野町でツルハシブックスを営み、本屋でコミュニティを作る試みをされている西田卓司氏。各地の事例や、実践者として関わるツルハシブックスのエピソードを中心に、本とまちづくりの関係について考えます。



西田 卓司(にしだ たくじ)氏

1974年生まれ、千葉県袖ヶ浦市出身。新潟大学農学部在学中の1999年に、「まきどき村」を発足、現在も毎週日曜日に農作業の後、団炉裏を囲んで朝食を食べる「人生最高の朝ごはん」を実施している。2002年に、NPO法人ヒーローズファームを設立。世代間交流事業や地域企業でのインターン事業などを行う。同時期からサンクチュアリ出版の地方書店営業を始める。2011年3月に「ジブン発掘本屋 ツルハシブックス」を開業。「劇場のような本屋、本屋のような劇場」をテーマに店づくりを行っている。

日 付：7月20日（日）

時 間：13：30～15：30

場 所：えんぱーく3階 多目的ホール

定 員：80名（先着順）

参加費：無 料

受付開始日：7月1日（火）

**申し込み方法：電話でお申し込みいただくか、直接、図書館本館総合カウンター
でお申し込みください。**

【お問合わせ、申込み先】

塩尻市立図書館本館 電話番号:0263-53-3365(毎週水曜日は休館となります)



松井 祐輔(まつい ゆうすけ)氏

1984年生まれ。愛知県春日井市出身。大学卒業後、出版取次に就職。仕入部門に配属後、人事、経営部門を担当。2013年退職。2014年3月、ファンから参加者になるため、「人」と「本屋」のインタビュー誌『HAB』(<https://www.facebook.com/HAB.mag>)を創刊。同年4月、本屋「小屋BOOKS」を東京都虎ノ門にあるコミュニティースペース「リトルトーキョー」(<http://littletyo.com>)内にオープン。

主 催	塩尻市・塩尻市教育委員会
企 画	長田 洋一(編集者・元河出書房新社『文藝』編集長)
顧 問	永井 伸和・熊沢 敏之・常世田 良
援 助	塩尻書店組合・長野県出版協会・長野県図書館協会・信州大学・松本大学・朝日新聞松本支局・信濃毎日新聞社・市民タイムス・中日新聞社・長野日報社・毎日新聞松本支局・松本平タウン情報・読売新聞長野支局・エルシーブイ㈱・テレビ松本ケーブルビジョン・abn長野朝日放送・NBS長野放送・NHK長野放送局・SBC信越放送・TSBテレビ信州・㈱郷土出版社・日本ハイコム㈱